



ふれあい活動

保護者感想文「砂の芸術」編

9月11日に「砂の芸術」が開催されました。
保護者の方の感想文をご紹介します！

1年保護者感想文

令和元年、新宮東中学校の初めての砂の芸術が開催されました。天気が少し心配でしたが、みんなの元気を表すかのように青天に恵まれ、とても気持ちのいい日でした。新宮海岸には初めて来たのですが、綺麗な砂浜と海が広がっていると感動しました。しかし照りつける太陽と暑さに汗が止まらず。そんな中、子ども達はとても楽しそうに作業をしていました。ブロックごとに1組、2組、3組と制限時間内に作品を作ります。1年生にとっては全くの初めての経験で、練習無しの本番です。3年生にとってはこれが最後の作品です。さすが先輩達は係分担をし、手際よく進めていきます。1年生は、まさに手探りで色々試してみたり、やり直したりしながら、協力し合っていました。リーダーや、先生達の声掛けの中無事に終了です！出来た作品達は個性豊かでどれもすばしかったです。細かくデザインされ、動物だったり物だったり様々でした。イメージ通りのものや、ちょっと違ったものに仕上がったものや（笑）結果は色々ですが、みんなで協力して完成させた事に意味があって達成感が得られたのではないのでしょうか。何よりもみんなの笑顔がキラキラ輝いて、見ている方が元気をもらえました。生徒の皆さん、先生方、暑い中本当にお疲れ様でした。海が身近にあるからこそ出来る貴重な体験をありがとうございます

新宮東中の第一回砂の芸術、初めての見学をさせていただきました。初めてということで、場所が分からずかなりウロウロと迷いました。近くへ行けば誰かしら向かう人の列があるだろうと調べもせず行ってしまいました。第一回目の開催という点と、子どもが一年生という点もあり略地図などのご案内があればと思いました。

ひとつひとつの砂像の間幅が狭く、作業しにくそうだと思いましたが、生徒さんたちは工夫を凝らし、クラスで考えた砂像作りに励んでいました。相当な暑さの中、限られた時間内に作業を進めるのは本当に大変だったと思います。皆さんで協力しながらひとつのものに集中し、頑張っていて素晴らしいと思いました。ただ開催するのであればもう少し時期を考え、生徒さんたちの健康面などへの配慮が必要かと思いました。我が子も日焼けに苦しんでおりました。作られた砂像はその後どうなるのか気になりましたが、夜のうちに波に流されたのでしょうか。暑い中、皆様おつかれさまでした。ありがとうございました。

2019年9月11日、今年度の砂の芸術は良すぎる程の良い天気の中、開催されました。中学校が分かれて初の砂の芸術、どんな風になるのか楽しみに見に行きました。先生方、上級生の声掛けのもと、初めて挑む我が息子もいる1年生。少々不安げに作業をスタート。「カメレオン」を作ります。最初は砂を固める地道な作業の連続でおつかれの様子。その時も先生方や上級生の声かけのおかげでまた集中！！少し離れた所で邪魔にならない様に見ていましたが、形作られていくとみんなの顔が喜びに輝いていき、見ている私も嬉しくなりました。ユーモラスなカメレオンの顔、良い感じですよ。2年生、3年生は経験値が高いからか、模様なども細かい！流石です！一つの物を作っていく事で気持ちもそろって団結していくのかな、と皆で声を掛け合いながら最終目的に向かっていく姿が、残暑の太陽のひかりよりもまぶしく思えた母でした。新宮の自然豊かな環境、先生方の熱意、真っすぐに取り組む生徒たち、素晴らしい新宮東中学校の砂の芸術を見られてよかったと思いました。暑い暑い残暑の忘れられない素晴らしい思い出ですね。先生方、役員の方々、ご尽力ありがとうございました。



令和元年9月11日、新宮海岸で第1回新宮東中学校の砂の芸術が開催されました。とても日差しが強く暑い1日でしたが、子ども達は暑い中でも元気に休憩を取りながら作品作りに取り組んでいました。1年生にとっては初めての体験で2、3年生と比べると手際よくとはいかなかったけれど、素晴らしい作品が出来上がっており感心しました。各ブロックでも力を合わせて作品作りに取り組んでおり、先生方やPTAの方々も一生懸命に制作されていて、とてもいい作品が出来上がっていました。この暑さの中でもみんな楽しそうに制作されていて、来年もまた見に行きたいと思わせてくれました。私にとっても子ども達にとっても、素晴らしい1日になったと思います。暑い中お疲れ様でした。



今年入学した娘同様、私自身も初めての砂の芸術の見学でした。近所の中学生の保護者の方より、「3大イベントの1つだから、感動するよ!」と聞いていたものの、イメージが湧かず、当日は私も楽しみにしていました。私が砂浜に着いたのは、生徒が座り、先生からの指示を受けている時でした。その姿勢、そして話を聞く態度の良さに緊張感を感じました。そしてブロックで声を出して団結する時は、やる気に満ちた3年生、生き生きとした2年生、連れられて動かされる1年生の表情が見えました。これからどのようにして作業をしていくのだろうと私はわくわくしました。アナウンスの先生の声で作業開始。生徒は砂を掘り起こし、積み上げていきます。「より高いほうが高得点です。」と先生の声で、見る視点ができました。色々なクラスを見たいのですが、歩き辛い砂浜の為、娘のクラスの作品の近くに腰を据え、それぞれのクラスを見渡していると、15分経ちました。「休憩中は作品に触らない。海に入らない。」との指示を3年生が1、2年生にも注意していました。3年生は数名で集り、話をしている…。「作戦は今のうちにします。」と先生の声が聞こえてきました。この時に3年生は作戦会議をしていた事を知り、3年生の動きも気になり始めました。1回目の休憩を終えると、2回目の作業で砂の上に乗る生徒がちらほら…。遊んでるのではなく、固める作業をしている事が分かると、次の段階に進んでいるんだと気づきました。ふと1年生のクラスを見ると、まだ砂を掘っていました。先生も力いっぱい砂をかき上げていました。生徒は先生の下で動いています。娘も周囲を見ながら後をついて動いていて、これが2年後には主導的に動けるようになるのかと勝手に思っていました。15分の作業の合間の休憩は、先生方も意識して水分補給の声かけを行っていました。生徒たちもしっかり水分補給ができていた様に思います。15分作業の終盤、先生より「あと作業は2回、模様や表情を入れて!」との声がかかりました。ここでプリンカップが必要な事に気づき、娘には手ぶらで行かせた事に反省をしました。すると、3年生の男の子が楽しそうに言った言葉に周囲が様子を伺いに来ている「そんな事より、今やって。時間ないよ!」との声が飛びました。さらにアナウンスで「3年生にとっては最後の砂の芸術です。最後までやり切りましょう。」の声が聞こえてきました。3年生は最後の15分作業に入る前はやる気に満ち溢れた顔、姿勢でした。「一つ一つ丁寧にしましょう。」のアナウンスも聞こえます。暑い中、黙々と取り組む姿勢を見て目頭が熱くなりました。15分作業を6回終えて出来上がった作品は、とても1時間半で出来たとは思えない立派な作品ばかり。思わず、全ての作品をカメラに収めてしまいました。生徒たちは終わってすぐ、先生の指示通り片付けをし、待機場所へ素早く移動を行っていました。作品を見たい気持ちがあったと思いますが、とても素晴らしい行動でした。暑い中での作業で周囲からの意見もあったかと思いますが、けれど私は暑い中、1年に一度、思いっきり大胆に行えるダイナミックな砂の芸術を開催する事に感謝します。砂の芸術を経て、クラスの友達との関りが増え、学校が楽しいと感じるようにしたいという先生の熱意を感じました。先生方のお力添え、ありがとうございます。そして、3年生の立派な姿を見せていただき、ありがとうございます。



朝から日差しが強く、気温も高く、9月なのに猛暑日でした。日傘にアームカバーと日焼け対策をしっかりして海岸へ行きました。子ども達はすでにあせだくで肌も焼けているのが分かりました。立っているだけで体力が奪われる中、集中し一生懸命に作業をしている子ども達がとてもたくましかったです。この精神力や体力が、今後様々なことに活かされることでしょう。作業終了時に、ハイタッチしていた時の笑顔が印象的でした。砂浜には、アイデアにみちた立派な作品が並びました。私は毎年、夕方見に行っていたので、炎天下の砂浜で一緒におられたり、お弁当の管理等で何度も移動されたりと、先生方には頭が下がります。砂の芸術だけでなく、日頃から子ども達のためにご尽力いただき、感謝でいっぱいです。ありがとうございます。3年生がブロック全体を引っ張っているのがよく分かりました。1年生は、このような立派な3年生の背中を見て成長していき、これからの3年間、充実した学校生活を送ってほしいと思いました。



新宮東中学校にとって初めての、そして1年生の息子にとっても初めての砂の芸術が、9月11日に行われました。熱心に制作に取り組む子どもたち。すっかり要領を得て、まとまりと団結の見られた3年生。昨年の経験を下地に、チャレンジと冒険心を感じた2年生。そして、初めての取り組みに戸惑いつつも夢中だった1年生。このような印象を持ちましたが、共通していたのは、力を合わせて作品を作り上げようとする懸命な姿でした。厳しすぎる残暑の中、おそらく体を動かすことすら大変だったと想像しますが、お互いに声をかけあうチームワーク、下級生を気遣う上級生。休憩時間には、お茶が少なくなってしまった友達と飲み物を分け合う姿も見られたと聞き、たくましさや優しさに感激しました。そしてなぜか、かつて町立幼稚園の園庭で砂遊びをしていた頃の、ただひたすらに無邪気だった子どもたちの顔が思い出され、時の流れと成長を実感しました。真っ黒日焼けて帰宅した息子の顔には、疲労の中にも充実感がうかがえました。大切な経験と思い出ができたことに、心から感謝いたします。最後になりましたが、お忙しい中砂像作りや運営に参加されたPTAの皆様、そして子どもたちの安全に気を配りご指導下さった先生方に、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



2年保護者の感想文

暦の上では秋となりましたが、まだまだ残暑が厳しい中、子供達が汗をかきながら一生懸命砂の像を制作した姿が目にはうかびました。仕事があり残念ながら制作している所は見ることができませんでした。90分というとても短い時間の中で大きく迫力がある作品を作ることができる中学生の力強さと団結力を感じる事ができる作品でした。また、貝殻や草木などを使い、細部まで工夫していて、各クラスごとにこだわりがある個性的な作品ばかりで見ていてとても面白かったです。中でも印象的だったのが、ねこや鳥などの生物の曲線の美しさでした。2019HIGASHIの力強い文字と校章も心に残るものとなりました。新宮海岸清掃のおかげで、普段はごみが目につくとも多い新宮海岸ですがきれいに清掃されており、夕日に照らされた砂像もさらに美しく見えました。海洋プラスチック汚染が問題となっていますが、限りある資源、かけがえのない自然を守る為にラブタウン活動も続けていってほしいです。自然とふれあいクラス一丸となって取り組んだ砂の芸術は新宮町に暮らす子供達にとって忘れることのない思い出になったことだと思います。引率していただいた先生方、暑い中ありがとうございました。



「砂の芸術」は子供にとっては初めての活動、私にとっては初めての見学で当日を迎えるまで親子で楽しみにしていました。当日はとても天気が良く日差しは強かったですが海風は気持ちよく、静かな波音がとても心地良かったです。創作開始になると一人一人が自分の担当を一生懸命に作り上げていました。夏休み前から準備していた模型と作品を比べながら皆で声を掛け合って創作している姿がとても印象的でした。出来上がったどの作品もアイデアや工夫がされていてとてもすばらしかったです。新宮町のシンボルをモチーフにしたり、オリンピックがテーマだったり海の生き物、動物、季節がテーマだったりといういろいろあって鑑賞するのがとても楽しかったです。青い空に青い海白い砂浜に並んだ作品のコントラストがとても素敵でした。新宮海岸に生徒達の声が響き渡り、皆で協力し合って一つの作品を創り上げている姿にパワーをもらいました。近くに海があるからこそできる伝統的な行事なのですね。新宮町は山あり海あり島ありと環境に恵まれた町だと実感しました。これからもこの伝統行事が続けばと思います。



快晴の新宮海岸、気温は30度を超えていましたが生徒のみなさんは試行錯誤を重ねながら砂像を制作していました。今回初めて見に行ったのですが、思ったよりも立派な砂像ができあがっていく様子や生徒達が話し合い役割分担をしてそれぞれの仕事を責任感を持って行っている姿にとっても感心しました。どのクラス、グループの砂像もテーマに沿ってよく考えられていて海岸がとても賑やかで思わず写真をたくさん撮ってしまいました。途中、海で遊んでしまう生徒達もいましたが最後には担当の場所に戻り全員で作り上げ記念写真には達成感でいっぱい顔がみられよかったです。生徒のみなさん、先生方、暑い中の作業やサポートお疲れ様でした。来年も見に行こうと思います。





新宮東中学校になって初めての砂の芸術。快晴に恵まれ、青い空、白い砂浜、青い海とまるで絵画のような新宮海岸。事前にどんな作品を作るのかを聞いていたのですが、二年目となる今年はどうな仕上がりになるのか楽しみに見学しました。子どもたちは、お互いに声を掛け合いながら穴を掘り砂を積み上げていました。昨年の経験もあり、動作もスムーズに思えます。時にはイメージ通りにいかず、どうしたらよいかを相談し合ったりする場面もありました。でもすぐにリーダー役の子が大きな声で指示をしたりする姿を見て、クラスの絆を感じることができました。分離して砂の芸術がなくなってしまうのでは・・・と心配していましたが、海が近い中学校だからこそ出来る素晴らしい行事を残していただき、先生方に感謝いたします。暑い中、よく頑張った子どもたち、ご指導下さった先生方、素敵なお一日をありがとうございました。



新宮中から分離して初めての砂の芸術。当日は残暑厳しく高温で子供達は汗だくになって一生懸命頑張っていました。中学生にもなると砂に触れる機会も少ないと思うけど小さい頃に戻ったように楽しそうに作っている姿を見て、こちらも楽しくなりました。クラスみんなで力を合わせて一つの作品を作りあげて行く姿は本当に感動しました。来年も又楽しみです。



当日は太陽がキラキラと照りつけ、砂浜に立っているだけでも大変そうな天気でした。そんな天気でも子どもたちはクラスの皆と協力して砂浜を掘ったり、海藻を見つけてきたりとキラキラした笑顔と汗で頑張っていました。完成した時には、顔を真っ赤にさせながら達成感のある立派な顔をしてました。どのクラスも砂の芸術をきっかけにさらに絆が深まったと思います。そして、どの作品もとても素晴らしかったです。お疲れ様でした。



3年保護者の感想文

9月の残暑がまだまだ厳しく刺すような日差しの中、新宮東中学校の第1回目の砂の芸術が開催されました。新宮中での開催の時から、子ども達の楽しそうに頑張る様子を見るのが大好きで今年も楽しみにしていました。暑い中でも子ども達と先生が声を掛け合いながら砂を掘ったり、水をかけたりしてチームワークの良さを感じました。リーダーが中心になってそれぞれが役割をしっかりと把握している様でした。

1年生は生き物、2年生は新宮町、3年生は四季、それぞれ楽しくオリジナリティ溢れる作品が仕上がっていききました。やはり3年生は手際が良く、作業もとてもスムーズでテクニックを持っているなあと感じました。細かいところがとてもきれいに仕上がっていて、さすが！！と思いました。チームワークも一段と良かったと思います。今年は各学年のテーマも良かったと思います。特に3年生の四季はそれぞれが良く考えていて面白かったです。

今年も子ども達の笑顔と活気に元気を貰いました。新宮海岸の自然の豊かさにも、いつも元気を貰います。先生方やPTAの役員の皆様の活気も素晴らしかったです。ありがとうございました。



新宮東中学校初にして、中学校生活最後の砂の芸術。今年と同じ浜を新宮中と2校で使っているせいか、作品と作品の間が少し狭く感じましたが、3回目なものもあり、みんな暑い中、砂を掘り、盛り上げ、固め・・・という具合に、手際よく進めていて感心。我が子は反抗期なのもあって、子どもから離れて写真を撮ろうというわけで、風通しのいい砂山の上から見ていました。2年前、要領がわからないなりに、がんばって動いていた時のことを思い出しました。行事のときは、子どもの成長をより強く感じるができますね。最後に、分離後も砂芸をやると聞いた時、新宮中よりも新宮浜まで遠いので、移動等の心配をしておりました。ですので、集合場所を友綱部屋に設定していただけたこと、スケジュールをHP上にUPしていただけたことで安心出来ました。ありがとうございました。また再来年、下の子が中学に入学したら、見に来ようと思っています。





新宮東中学校としても、令和という時代としても初めてとなった砂の芸術は、新宮中学校からの伝統を引き継ぐ素晴らしいものでした。夏の終わりに涼しい日が続いたことが嘘のような厳しい暑さの中、子ども達が、汗だくになりながら作品を作り上げていく姿には心を打たれました。制作終了30分前に私が会場に到着した時には、波打ち際に見事な作品が出来上がりつつありました。大きなスコップで全身の力を使って穴を掘り山を作り、形作りをする子ども達。膝まで水につかりバケツに水をくんで成形を手伝う子ども達。形が崩れないように表面に線をひき、作品が美しく見えるように白砂をふりかけます。この経験が出来る中学生は恐らく多くはないでしょう。この大変な作業で作った作品も満ち潮になればなくなり、元の砂浜へと戻ってしまいます。そのことを想いながら、頑張る姿を見ていると本当に感動しました。その日帰宅した娘は、本当に疲れ果てシャワーを浴びるとすぐに眠ってしまいました。そして夜起きてくと翌日の小テストの勉強を始めました。受験生という緊張感のある1年を過ごしている3年生にとっては疲れている、という事も乗り越えなければならないものなのでしょうが、我が子ながら机に向かっていく姿には感心しました。作り上げ、崩れ、作り直してなくなる砂の作品。その過程に必要な根気強さは将来への不安を乗り越えていくにも大切なものです。仲間と団結して作り上げた作品のように残りの中学生生活も力を出しあって乗り越えていってほしいと思います。



中学校生活最後の砂芸は、3年間の中で一番天気が良く一番暑い日でした。そんな中でも、作品を文句一つ言う事なく仕上げて行く子供達を見ていると1年生からの姿を思い出し、放っておいても成長していくんだなあ…と嬉しいような、寂しいような気持ちになりました。今年は中学校が分離してしまい、砂芸がなくなってしまったら寂しいなと思っていたので無事に開催されとてもありがたいです。砂芸ができる環境にある事はとても素晴らしいと思います。子供達が一緒になって1つの行事をやり遂げていく機会があるのは、思い出も増え親の出向く機会も増えるので普段の子供の姿を見ることができ安心します。3年生となると作品のクオリティも高くなり見る側も楽しめました。また、暑い中先生方PTA役員の方々本当にお疲れ様でした。来年はもうちょっと曇り空でもいいですね。分離し考えることも増え大変だと存じますが、どうか来年は保護者の方がもっと来やすくなれば良いなと思います。ありがとうございました。



令和元年9月11日新宮東中学校で初めての、3年生の息子にとっては中学校最後の砂の芸術でした。日傘をさして見ているだけで汗が止まらない、とても9月とは思えないほどの暑さの中、子供達はそれぞれのクラスやブロックに分かれて一生懸命作品を作っていました。スコップで砂を掘る子、水を運ぶ為にバケツを持って海と作品を何度も往復する子、全体を見て指示を出す子。あの暑さの中、友達と協力しながらそれぞれの役割をしっかりとこなす姿に3年間の成長を感じとてもうれしかったです。また、他の行事でもそうですが、先生からの休憩などの指示に対し、作業の手を止めスムーズに水分補給に向かう様子は本当に感心します。完成した作品はどれも素敵で、90分という限られた時間の中で作られた物とは思えない程でした。真っ黒に日焼けして疲れ果てた様子で帰宅した息子でしたが、その顔は砂芸をしっかりとやり遂げてとても満足そうでした。残り少ない中学校生活、お友達とたくさんの思い出を作してほしいと思います。先生方役員の皆様、準備から今日まで子供達を支えて頂きありがとうございます。暑い中、一生懸命立派な作品を作った子供達、本当にお疲れ様でした。



中学校生活最後の砂の芸術でもあったので初めてでしたが見に行きました。この日はとても暑かったですが、生徒、先生方、PTA保護者の方々が全力で作品を作っていました。生徒みんなで役割分担をして一つの作品に取り組む姿はとても素晴らしいものでした。顔を真っ赤にしながらか砂を固める、その砂を固める為に水を運ぶ・・・本当に大変だと思います。2組の一人の女子が大きな声で指示を出している姿が目立ちました。その子は、ただ指示を出すだけではなく、自分も一生懸命働いて、最後は、大きなシャベルを2、3本抱えて片付けまでしていました。名前がわからないので何も声をかけてあげることはできませんでしたが、本当に感心です！生徒会の子供達も最後まで残り、片付けなどお疲れ様でした。熱中症などの心配もありましたが無事に終わって良かったと思います。





東中になって初めての砂芸です。新宮中より人数も少ないし、どんな感じかなと思っていましたが、時間差で新宮中も制作し、また例年のような大規模なものになったと思います。今年は台風の多い年で、突然雨が降ったりする日もありましたが、当日はとても天気がよく、熱中症が心配される程で、うちの子は、全身まっ赤に焼けて帰ってきました。強い日ざしの中で、みんな一生懸命砂を掘り、砂を積み上げ、砂をかためていく姿が想像できます。私は仕事のため、制作時間に行くことはできませんでしたが、仕事の帰りに海岸に立ちよりました。今年は日の暮れるのが早く、私の行った頃には、うす暗くなっていましたが、海岸には堂々たる作品が並んでおり、今年はいつにもまして表面がつややかに仕上げているような気がしました。砂芸で、生徒達が作品を完成させるにあたり、各テーマにそって、クラスで案をだし合い、模型を作ってみて、実際に砂で制作するという、この一連の工程が子供達のクラスの絆を深め、より一つになれるという！素晴らしい行事だと思います。砂の芸術は私が中学校の時からずっと続けて行われているので、これからもずっとずっと続けていって、中学校生活の大切な思い出としてほしいです。毎年砂の芸術を見ることができて嬉しいです。ありがとうございました！



厳しい残暑！暑い！暑い！暑い！熱中症にならないかな？と心配をよそに、張り切って出かけて行った中1の娘と中3の息子。子供とは裏腹に、あまりの暑さにうなだれ、重い腰をあげるのに時間がかかりましたが、海岸に出向けキラキラ光る海に澄んだ空、一気に童心に帰りました。紙粘土で作っていた模型通りに作ることの難しさ、バランスの取り方、時間配分、なんと言ってもこの暑さ。娘は砂芸リーダーとしてクラスに声かけを頑張っていて、初めての砂芸の厳しさに苦戦していました。中3の息子のクラスは慣れたものか、時々海ではしゃいでは？！東中で最初で最後の砂芸をみんなで和気藹々と楽しそうに作品作りをしていました。終了合図とともに、一気に海に入っていく子供達の姿。パッシャパッシャと足元はとても気持ち良さそうで、そしてどのこの顔も爽やかな笑顔と達成感に溢れていました。ジリジリと暑さが増す中、本当によく頑張ったな、と思います。完成品と模型を見比べると、各クラスらしさ、表現の難しさ、楽しさがよく伝わりました。PTAの皆さんの作品は、子供たちと向きを反対でに作ってしまった！と言っていました。東中の校章が海を背景にととても綺麗に映えていて、すごくよかったです。（子供達の作品も海を背景に作ったら、砂丘の上からも作品の正面が見れていいのかな？と思いました。）帰ってきた娘、息子の顔は真っ赤に日焼けしていました。しかし夕方また海に出向いていました。子供の体力は無限ですね！私自身も新宮中出身というこもあり、このイベントはとても懐かしく、その日の夜は卒業アルバムを出して「お母さんたちが3年時の作品、クオリティ高いでしょ？」と自慢げに写真を見せて、思い出話を子供達に語りました。これからもずっとこの綺麗な新宮海岸で素晴らしい伝統を残して欲しいと思います。この暑さに、たくさんの気配りと、準備から最後まで生徒と共に楽しんでくれた先生方には感謝いたします。

